

令和7年度 高千穂町立押方小学校 学校評価書

- 【本年度の学校経営ビジョン】
- 児童一人ひとりの人権尊重とよさや可能性を最大限に伸ばす教育
 - 学校と家庭・地域が連携した安心・安全な「地域とともにある学校」
 - 互いに協働し、一丸となって学校力の向上に努める教職員集団

()は前年比

重点指導事項	手段・ゴールイメージ	自己評価				結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価コメント(○:成果 ●:課題 ※:意見)
		児童	保護者	教職員	総合		
1 自他の生命の尊重	○命についての指導を充実させ、学校評価において「自分や友達の命を大切にしている」と評価する割合が8割以上を目指す。 ○人権教育の指導を充実させ、相手を思いやる心を育てることを通して「自分や友達の命を大切にしている」と評価する割合が8割以上を目指す。	99.3 (+2.5)	85.8 (+1.3)	85.0 (-2.5)	90.0 (+0.4)	◇いのちの教育出前授業、命の教育週間、全校朝会講話、道徳の時間など全教育活動の中で命や人権を大切にしている指導を継続して指導してきたことがよい結果へつながっていると考える。	○高い評価なので今後も同様の指導を継続してほしい。 ○悲惨な出来事がマスメディアで流れている昨今、命の大切さ、友達や相手を思いやる優しい心が養われているのは常日頃の指導の賜物だと思う。 ○自分や家族の命の大切さを会話の中で知ることがある。また、友達に対しても「大丈夫？」などと声かけしている場面を登校時の見守りの際に見ることがあった。 ※命を尊重し、他者を思いやる心を育む教育を引き続き大切にしてほしい。 ※「生命の尊重」、「自分や友達の命の大切さ」について日々の教育の必要性を日々の報道(治安の悪さ、命の軽視など)で感じます。
	○ひなたの学びを推進して意欲的に学習に取り組む児童の育成を目指し、「主体的に授業に取り組んでいる」と評価する割合が8割以上を目指す。	90.3 (-0.5)	86.5 (+9.0)	95.0 (+3.2)	90.6 (+3.9)	◇複式指導について校内研究で取り組んだり、町教育研究会に向けて授業改善に取り組んだりした。また、参観日では複式指導の様子や子どもたちの学びに向かう姿を保護者に参観していただいた。今後もひなたの学びや複式指導の研究推進を行い、それらの実践の充実を図っていく。	○参観にて複式授業の様子を見ることができ大変良かった。ただ、先生方への負担の大きさも感じた。 ※子ども・保護者・地域に対して、複式の良さや複式だからできることを周知する取組も必要ではないか。 ※複式授業は一人一人の個性や能力を見極め、きめ細かい指導ができる反面、もう一方の学年は自主学習になると思う。学力向上のためにどのような指導をしているのか知りたい。先生方の負担が大きいのではないか。ひなたの学びは初めて知る言葉だった。「やかたの子」と通ずるものがある。 ※課題などをクリアしたご褒美としてのシールは子どもたちにとって最高のプレゼントで、やる気を発揮する源ともなるように感じる。 ※子どもたちが意欲的に学びに取り組める環境作りを学校・家庭・地域で連携し支えていければよい。
2 学力の向上	○きめ細かな指導・支援や授業改善を通して、学習内容が「わかる」「できる」と評価する割合が8割以上を目指す。	92.4 (-0.9)	84.5 (-5.3)	95.0 (+3.2)	90.6 (-1.0)	◇学級懇談会や個人面談等で保護者に対して学習状況の説明を丁寧に行った。授業では特別支援教育支援員と連携しながらどの子どもに対してもきめ細かな指導を行うことを心がけた。	○支援員との連携はしっかりできていたと参観等で感じた。 ○小規模校での取組、頑張り感謝しています。頑張りや努力が見えます。 ※一人一人に寄り添った指導を通して、「分かる・できる」授業の充実をお願いしたい。
	○進んで本に親しみ、読書を楽しむ児童の育成を通して、「読書が好き」と評価する割合が8割以上を目指す。	91.0 (+3.5)	66.9 (-2.1)	95.0 (-0.8)	84.3 (+0.2)	◇学校では普段の授業や朝の活動だけでなく、読書推進イベントを通して読書に親しむ環境作りを行った。 ◇保護者に協力していただいて家庭での読書を推奨する活動も行ったが、保護者の結果からは読書習慣が十分に身につけていない。児童クラブで読書をするので、家では読まない子どももいると考えられる。家庭学習として「読書の日」を設けるなどして、引き続き家庭での読書を推進していきたい。	○何人かの有志者が授業前に読み聞かせをしているとのことで、子どもにとって本に興味をもつ良い取組だと思う。 ●児童クラブで読書をしており、放課後は部活があり、家に帰って読書をする時間があまりない。 ※夏休みなどの長期休業中や大型連休を活用し、読書感想文などを取り入れてほしい。 ※家庭での読書の取組、読書の必要性、ゲームと読書の時間割合を見直すことが大事である。 ※家庭では読書の時間を決め、保護者はテレビのスイッチを入れられない等の協力が必要ではないか。 ※読書は心のいやし、集中力の向上につながり、言葉を知ることで文章力も身につくと思う。 ※本に親しむ取組が進み、読書を楽しむ児童が増え、家庭でも読書する習慣が増えることよい。
	○進んで宿題や自学などの家庭学習に取り組む児童の育成を通して、「家庭教育に進んで取り組んでいる」と評価する子どもの割合が8割以上を目指す。	97.2 (+4.7)	79.7 (-1.3)	100 (+8.2)	92.3 (+3.9)	◇望ましい家庭学習の在り方について、年度初めの学級懇談会で説明しているが、保護者アンケートの結果からは、家庭での学習の内容や見届けの方法等にまだ改善の余地があると考えられる。	※児童クラブと家庭での宿題・勉強の必要性について共通理解が必要ではないか。 ※家庭と連携した家庭学習の定着と主体的に学ぶ力の向上を期待する。
3 健康・安全の充実	○すこやか週間の取組や保健だよりの充実を図り、家庭と連携してよりよい生活習慣の定着を通して「基本的な生活習慣ができています」と評価する割合が8割以上を目指す。	82.9 (+2.1)	79.1 (+2.3)	90.0 (-1.8)	84.0 (+0.9)	◇保健便りを毎月配付したり、全校朝会で話をしたりしたことで「早寝・早起き・朝ご飯」「手洗い・歯磨き」などの生活習慣は概ねできている。 ◇体調不良等を訴えて保健室来室をする児童は少ない状況であり、この点からも規則正しい生活習慣は概ねできていると考える。	○インフルエンザ等での学級閉鎖もなく、健康管理ができていていると思う。規則正しい生活習慣は家庭でもよくできていると思う。 ●生活リズムチェックカード実施時だけ改善が見られる。定着するために回数を増やすなど、何かしらの努力が必要だと思う。 ※「早寝・早起き・朝ご飯」といった基本的な生活習慣が定着することが必要だと思う。
	○スクールスポーツプランに基づき体育指導を行ったり、外遊びを励行したりして「運動がすき」と評価する割合が8割以上を目指す。	88.9 (-4.4)	77.0 (-5.8)	95.0 (-0.8)	87.0 (-3.6)	◇体力テストではA判定の子どもが多く、運動を楽しんでいる姿がたくさん見られたが、昨年度と比較すると肯定的な回答が減少している。学校や家庭で外遊びや運動を促す取組を推進していきたい。保健体育委員の子どもから全校へ運動を呼びかける活動を意図的にに行い、楽しく体を動かす機会を増やしていきたい。	○押方小のよさとして、昼休みは全校児童で運動やレクリエーションする習慣があるので、今後もそうあってほしい。 ※ゲーム等の時間が多い。外遊びの時間を増やし、太陽に当たる大切さ教える授業をしてほしい。 ※いろいろなスポーツクラブに入部し活躍している。スポーツをすることで社会性が身につく、友達の輪が広がり、心豊かになるのではないかとと思う。
	○メディアコントロールについて子どもや家庭に啓発を図り、「メディアについて家のルールを守っている」と評価する割合が8割以上を目指す。	91.7 (+3.4)	61.5 (+0.2)	80.0 (-11.8)	77.7 (-2.8)	◇子どもと保護者でメディアコントロールに対しての評価に大きな差があることが気になる。実際はルールを守れていないことに学校や家庭で子どもにも気づかせ、改善を図っていく必要がある。外部講師や担任、養護教諭による授業での指導やすこやか週間での取組などを粘り強く継続していく。また、家庭教育学級や学級懇談等を活用して、保護者への理解啓発も図ってほしい。 ◇長期休み前などに、家族で参加できる催し物などの紹介を積極的に行い、外出を促すことでメディアとの適切な距離感をもたせたい。また、ノーメディアデーなどの取組をPTA研修部からも呼びかけてもらうようにして、各家庭の実態に応じた取組につなげたい。	●大人も変わらない限り、子どもに言えない。昨年度実施した戸敷教育長の講話は大変勉強になった。大人に対する教育も必要。今の時代、ノーメディアは無理なため、メディアとの正しい付き合い方を子どもたちに教育していくのが大切だと感じる。 ※学校での教育だけでなく、保護者の努力も必要だと思う。地域の催し等に喜んで参加している小学生の今こそ早急な取組が必要に思う。 ※さらなる理解啓発が必要である。 ※現在社会でメディアを断ち切ることは無理だろうと思う。家庭環境も違う中、それぞれの家庭で約束事、ルールを作るのが必要だと思う。 ※メディアコントロールは家庭のルールであり、しっかり話し合う時間をもつことが大切である。 ※メディアコントロールについては家庭での指導が必須だが、家庭への啓発を通して子どもたちがメディアのルールを守る意識を高める取組をお願いしたい。
4 学信校頼づさくれる	○地域素材や人材を生かした教育活動を充実し、「地域のがさき」と答える割合が8割以上を目指す。	97.2 (+0.4)	78.4 (-3.6)	90.0 (-1.8)	88.5 (-1.8)	◇高千穂町や押方地区についての学びを発表したり、保護者に地域人材として協力依頼したりして、押方小ならではの郷土学習を継続していく。 ◇校外に出かけるだけでなく、地域人材に校内に来ていただき、その方の得意分野や仕事などについてキャリア教育の視点から学習する場を設ける。	○校外学習など充実しており、学習発表会などで成果を感じられる。中学生に対して実施されている職業学習を取り入れてほしい。 ○ふれあい活動の発表で、高千穂町や押方地区のことを詳しく調べているのに感心しました。 ※高千穂・押方の良さを知る意味でも大変よいことです。県外流出の要因とも関連があるのではないかと？ ※故郷を知り、故郷を愛し、故郷の新しい時代を築いてほしい。 ※学校での行事やボランティア活動に対して、私たちは喜んで参加したいと思っている。 ※地域の特性や人材を生かした学びを通して、押方小ならではの郷土学習を継続してほしい。
	○学校便りやホームページ、各種通信等を通して、保護者や地域の方々への情報提供の充実を目指す。	91.0 (+5.2)	81.8 (-6.2)	90.0 (-7.0)	87.6 (-2.7)	◇学校からの情報発信は昨年度同様できてはいるが、保護者アンケートの結果が下がっていることが気になる。紙媒体とマチコミでの情報発信を継続しつつ、子どもたちや学校の様子をもっと分かるように内容の改善を図りたい。また、各種通信等には子どもの様子をたくさん載せていることを繰り返し周知し、必ず見ていただけるように根気強く情報提供を継続していく。	○学校からの通信は内容等充実していると感じる。保護者が読んでるか読んでいないかの違いが評価の低下に表れただけだと感じる。 ※毎月の学校便りはよく見えています。内容もよく、関心もあります。併せて各学級の様子にも関心があります。 ※学校便り、各種通信読ませてもらっています。久しぶりにがまだせ節を口ずさみました。高千穂の方言が懐かしかったです。 ※学校便りやホームページ等を通した情報発信については、一層の充実を期待したい。

考察欄

- ・少ないスタッフでの頑張りに対し、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。無理せず頑張ってください。応援しています。
- ・全ての項目において児童と保護者の自己評価に差異が見受けられる。原因究明が必要かもしれない。
- ・日頃から子ども一人一人に丁寧に関わっていただき、安心して学校生活を送ることができています。今後も子どもたちが楽しく学べる環境作りを続けていただけるとありがたいです。
- ・公民館文書配付で届く「押方小学校通信」「みんないい子だよ」等を毎月拝見しています。特別支援教育コーディネーターの職務があることを知りました。保護者、地域に向けて押方小学校の教育を理解していただき、さらによくしようとする熱意が伝わります。